

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	支援ハウスまつぼっくり		
○保護者評価実施期間	令和7年12月 1日		～ 令和8年 1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年 1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年 1月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	2	(回答数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	心理専門員に発達段階を見てもらい、支援の方向性を共通理解出来ている。	集団生活の中で、どこに注目して、どのような思いであるかを 感じ取り、思いをわかってもらえているという安心感の元、一 緒に考えていく関わりを大事にしている。	集団生活の様々な場面で、自分で判断し生き生きと取り組め る事に繋がる為、家庭内での関わり方や取り組みをより理 解できるよう支援していきたい。
2	思いを感じ、わかってもらえている安心感の中、本児自身の感 情や心の動きに寄り添った関わりを大切にしている。	集団の状況の中で、自分自身の思い、周りの状況の変化等に気 づかせ、どうしたらいいか一緒に考え、自分で判断できるよう にしている。	こども自身が、はっきり状況を捉えられるように、考えの導 き方や心の動かせ方への関わりをより丁寧にしていきたい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・心理専門員以外の専門職からみたり子どもの発達段階を知る機 会が少ない。	・嘱託のやまびこ医療福祉センターの受け入れ数が少ない。	・嘱託のやまびこ医療福祉センターの支援の受け入れを増や すことで、各専門職からの見解を知り、日々の療育活動の支 援に活かしていきたい。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	支援ハウスまつぼっくり		公表日	令和8年2月24日		利用児童数	13人 令和8年2月2日		回収数	13	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	11			2					
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	11			2					
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	13								
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	10	3			時間は把握していませんが、特に問題ないです。	口頭でのお知らせだけでなく、明確なお知らせの仕方をしていきたいと思えます。			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	12	1							
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1			子どものことをよく見てくれて、細かい点まで報告書をいただいています。ありがとうございます。				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	1							
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	11	1		1					
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1					
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13								
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	13								
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13								
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13								
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	13								
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	13								
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13								
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13								
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13								
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13								
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	12				1				

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	12			1		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	12	1			報告書で我が子の様子を確認させていただいて、先生方と対面でお話してもう少し理解したいと思うのですが、面談していただくほどの時間はかからないけど、ゆっくりとした空間の中で話しをして理解に努めたいです。	保護者の方に、通所先での様子や支援の仕方への理解がわかるような伝え方を工夫していきます。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	12			1		
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	12			1	先生が来てくれて、一緒に遊んでくれることをとても喜んでいて、安心感を感じ、信頼関係ができていますとすごく思います。今後よろしくお願いします。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	12	1				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年2月24日

支援ハウスまつぼっくり

利用児童数

13人

令和8年2月2日

回収数 2ヶ園

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			・助言のおかげで、集団での悩みも軽くなり、とても助かっています。	集団生活での姿を的確に掴み、支援の方法をわかりやすく伝えられるよう努めます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			・担任だけでは、解決が難しいこともまつぼっくりの先生の知識のおかげで、よりスムーズにクラスとしての活動に活かしたり、子どもにとって何が適切かを考える事ができるためありがたいです。	集団生活でも取り入れていける支援方法を的確に伝えていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	2			・わかりやすい言葉で話しをしてくれるため、理解がしやすかったです。 ・園の様子から感じた疑問を伝えると特性を教えていただいた。	訪問先の職員の方の理解に繋がったか確かめながら、適時・適切に回答することに努めます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2				課題や困りごとが解消または軽減するためには、こどもへの見方、捉え方を確認していき、今必要な支援を明確にしていきたいと思っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			・とても満足しています。	支援に満足していただけるような対応の仕方と、支援後の振り返りの時間も大事にしていきたいと思っています。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
今年度も大変お世話になりました。子どもにとって、どんな関わりが大切なのかと悩んだときに、いつも助言や励ましをしていただき、とても嬉しかったです。誰かコミュニケーションをとることで、悩みを溜め込まずに子どもとも丁寧に向きあえることができました。引き続き、来年度もよろしく申し上げます。					一人ひとりの発達の状態に応じた関わりが、集団の場ではなかなか難しい事も多いので、今後も、支援の方向性についても共有していきたいと思っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
支援ハウスまつぼっくり		令和8年2月24日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>				
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		利用希望者が増えたので、職員の配置数を増やした。	利用者のニーズに合わせた対応をしていきたい。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>				
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			保護者からの評価を今後の業務改善につなげていきたい。	
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>				
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>			
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>			研修案内等の情報を多く取り入れ、研修に参加していきたい。	
適切な支援の提供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>				
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		訪問先の担当者と十分に連携をとり、保護者の思いと訪問先の担任等の思い等を盛り込んだ会議を行っている。		
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>				
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		訪問支援員が支援に行けない日でも、児童発達支援管理責任者が支援した内容を報告し、振り返っていき、共有している。		
	17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先の理念や支援手法を尊重し、利用児への関わり方等わかりやすく伝えられるように努めている。		
18 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>					
19 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		月に一度、訪問先の意向と保護者の思い等の確認を行うようにしている。			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		担任が決定してから、移行支援シートを持参して情報共有と相互理解を図るようにしている。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に心理専門員と対応力の向上に繋がる講話を設けている。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		家族からの子育ての悩み等に対する相談を迅速に対応できるようにし、家族の悩みを傾聴する事で安心感に繋がるような支援を心掛けている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		職員の体勢を整え、なるべくきょうだい同士で交流する機会を設けるようにした。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>			
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			

非常時等の対応	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>			
	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			

